国際ロータリー第2600地区
上田ロータリークラブ
（創立1959年11月12日）

WEEKLY REPORT

2021-2022年度 国際ロータリーテーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

R.I.会長　シェカール・メータ
国際ロータリー第2600地区　ガバナー　桑澤 一郎

Rotary Club of Ueda

2021-22年度
上田ロータリークラブ
- 会長　米津 仁志
- 副会長　金子 良夫・湯田 勝己
- 幹事　柳澤 雄次郎
- 会報委員長　田邉 利江子

第２８４７回例会（令和３年10月25日）

ホームページQR

［ボーイスカウト・ガールスカウト賛助金贈呈］

ボーイスカウト上田第５団	副団委員長	宮下貞夫 様
ボーイスカウト上田第13団	団委員長	小川　實 様
ガールスカウト長野県第５団	団委員長	岩岡智子 様
ガールスカウト長野県第25団	団委員長	村瀬知穂 様

［会長挨拶］　米津仁志　会長

みなさん、こんにちは～日に日に冷え込んでいますね。

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は10月22日現在、人口10万人当たり長野県全体では1.21人、上田圏域は０人です。上田圏域の感染警戒レベルは10月19日にようやく１に引き下げられました。ちなみに東京は２人、沖縄は10人です。

本日はボーイスカウト、ガールスカウトへの賛助金贈呈式です。上田市内四団の代表のみなさまに来ていただいております。

長野県の施策として「信州やまほいく」（信州型自然保育認定制度）があります。長野県は、主体性、創造性、社会性、協調性などを育むと言われる、自然環境での教育、保育を推奨しています。そのような取り組みを進める幼稚園、保育園を長野県が認定しています。この制度により認定された園は、他地域と比べ、上田市には少ないようです。故に、上田で子供たちの野外活動を進めてくださっているボーイスカウト、ガールスカウトのみなさまの活動の意義は大変大きいものと存じます。今後の活動の拡大にご支援を申し上げたいと思います。

さて、先週の例会から『マネジメント』の「目的とミッション」を読んでいます。ここには「体系的廃棄」という概念が出てきます。どのような意味でしょうか？「体系的廃棄」についていくつかの文章をご紹介します。

“新事業への参入の開始と同じように重要なこととして、事業の目的とミッションに合わなくなったもの、顧客に満足を与えなくなったもの、業績に貢献しなくなったものの体系的な廃棄がある。”

『マネジメント（上）』
第７章「目的とミッション」p 121-122より引用

“集中のための第一の原則は、生産的でなくなった過去のものを捨てることである。そのためには自らの仕事と部下の仕事を定期的に見直し、「まだ行っていなかったとして、いまこれに手をつけるか」を問うことで

ある。答えが無条件のイエスでないかぎり、やめるか大幅に縮小すべきである。もはや生産的でなくなった過去のもののために資源を投じてはならない。第一級の資源、特に人の強みという稀少な資源を昨日の活動から引き揚げ、明日の機会に充てなければならない。”

『経営者の条件』　p 142より引用

“つまるところ、成果をあげる者は、新しい活動を始める前に必ず古い活動を捨てる。肥満防止のためである。組織は油断するとすぐ体型を崩し、しまりをなくし、扱いがたいものとなる。人からなる組織も、生物の組織と同じようにスマートかつ筋肉質であり続けなければならない。”

『経営者の条件』　p 145より引用

“古いものの計画的な廃棄こそ、新しいものを強力に進める唯一の方法である。アイデアが不足している組織はない。創造力が問題なのではない。せっかくのよいアイデアを実現すべく仕事をしている組織が少ないことが問題である。みなが昨日の仕事に忙しい。”

『経営者の条件』　p 146より引用

「体系的廃棄」はドラッカーの言葉として有名ですが、かっこいい言葉である反面、意味が分かりづらいです。原書を読むと「体系的廃棄」を意味する systematic abandonment という言葉も出てきますが、節の題名「体系的廃棄」(the need for planned abandonment)にも入っている planned abandonment の方がドラッカーの意図するところではないか、と私は思いました。であるならば「体系的廃棄」ではなく「計画的廃棄」としてもよいわけです。また、事業については、廃棄という言葉がそぐわないなら、撤退と置き換えてもよいと思います。

われわれは新しい事業を検討する際には計画的、体系的に考えますが、廃棄または撤退することについては、あらかじめ計画をもつことはありません。行き当たりばったりで決めてしまうこともあります。

ドラッカーは廃棄、撤退も体系的、計画的に行うべきであると言います。廃棄、撤退を実行しない限り、新しい事業に移ることが出来ませんし、組織の足を引っ張る事業が亡霊のようにいつまでも残ってしまう事になります。

そういう私もコロナ禍で３店の店舗を閉店し撤退しました。いま考えると、コロナ禍になる前に、撤退すべき案件でありました。「論語読みの論語知らず」ということわざがありますが私はまさしく「ドラッカー読みのドラッカー知らず」だったことになります。

みなさま時節柄お身体ご自愛くださいませ。ありがとうございました。

［ゲストスピーチ］

ボーイスカウト上田第５団
副団委員長　宮下貞夫 様

日頃から皆様方には青少年育成に関するご理解とご支援、またこの度スカウト活動に対する多大なご支援をいただきましたこと心より感謝を申し上げます。

昨今のコロナ禍により子供達の活動が制約されておりますので、小さな隊活動をそれぞれに行っております。また最近では、子供達の活動の多様化によるスカウトの減少。そして指導者も減少しております。ぜひスカウトにお誘いをいただき、子供達の為にお手伝いをいただけると大変ありがたいです。

ボーイスカウト上田第13団
団委員長　小川　實 様

毎年上田ロータリークラブ様には賛助金をいただきまして誠に感謝を申し上げます。

昨今のコロナの影響により長野県キャンポリーの開催が残念ながら中止になっております。2022年には東京で「日本スカウトジャンボリー」が開催されます。その参加に向けて準備が立ち上がりました。私たちスカウトのスローガンは「備えよ常に」です。いつでも何かに対して準備をしなさいということです。安心安全に活動を行ってまいります。

ガールスカウト長野県第５団
団委員長　岩岡智子 様

いつもスカウト活動のご理解ご協力に感謝申し上げます。

2021年度の５団スカウトは、年長(テンダーフット)２名、低学年(ブラウニー)７名、

高学年（ジュニア）中学生（シニア）高校生（レンジャー）各１名の計12名と成人26名で合計38名が登録しています。

活動はコロナ禍ではありますが、十分に注意しつつ月２回の集会を計画し４月の入団式から、別所線の旅、夏の戸隠１泊舎営キャンプ、手話を学ぶ、マルチメディア集会、案山子を見る別所線の旅、ハロウィン集会、と行ってきました。計画や準備など一人のリーダーに負担が掛かってしまうのですが、保護者委員や手を貸してくれる人がいるおかげで、毎回楽しく賑やかに集会ができています。

ガールスカウトは「少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となれるようにする。」という使命があり、私たちは少女が成人したとき、少しでもガールスカウトでの体験が生かされてくることを願って活動しているわけです。

2021-2023戦略計画が６月に発行され、日本連盟も長野県連盟も少女が活躍し発信していかれるようプログラムを展開していて、今はほとんどオンラインですが、地区大会も国際大会も行われていて成功させています。ＳＤＧｓ目標５の「ジェンダー平等を実現しよう」の新しいバッジも始まり、スカウトにとってバッジ取得は大事なことなので、後半に向けて休まず活動していこうと思っています。今後もご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。

ガールスカウト長野県第25団
団委員長　村瀬知穂 様

本日は賛助金をいただきましてありがとうございます。コロナ禍で活動が制限されている中でバザー等も出来ない状況です。最近では自然災害なども起きております。

その時の環境や状況に応じて対応できるような子を育てられるように、リーダー達と保護者の皆様と協力しながら集会等進めています。ガールスカウトは、野外活動の中でいろいろな学びが多いと思います。少しずつ経験できる環境等を進めていかれればと思います。今後ともご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

[委員会報告]　親睦活動・家族委員会　内河利夫　委員長

●11月８日
東近江ＲＣ歓迎創立記念日
夜間例会について

●12月20日
クリスマス例会、オークションについて

それぞれについて案内と連絡がありました。

[「ロータリーの友」紹介]

雑誌委員会　関勇治　副委員長

[幹事報告]　柳澤雄次郎　幹事

1．地区事務所
「国際ロータリー第2600地区災害対策特別基金規定」について
次年度ＲＩ委員会委員推薦のお願い
「世界ポリオ根絶サミットinＤ2780」のご案内
2021-2022年度　ＲＬＩ　Part Ⅰ開催のご案内
国際ロータリー第2600地区青少年育成基金プロジェクト助成金のご案内
地区職業奉仕セミナーのご案内
日本のロータリー100周年ビジョンレポートの回答について

2．伊那中央ＲＣ
インターアクト地区大会のお礼と報告書

3．東信ジャーナル　「ロータリー奉仕デー」広告

4．例会変更　丸子ＲＣ　10月28日㈭　定受なし
　　戸倉上山田ＲＣ　11月19日㈮　定受なし

6．会報恵送　東御ＲＣ

東京ヤクルトスワローズ　ＪＥＲＡ セ・リーグ優勝の前祝いとして、桑原茂実さんからヤクルトの差し入れがありました。（10月26日　６年ぶり８回目のＪＥＲＡセ・リーグ優勝を達成）

[ニコニコBOX]　　中村邦彦　副委員長

飯島幸宏さん　石井懋人さん
出田行徳さん　伊藤典夫さん
内河利夫さん　小幡晃大さん
上島孝雄さん　河田純さん
北村修一さん　窪田秀徳さん
桑原茂実さん　小池文彦さん　小林俊明さん　小山宏幸さん　酒巻弘さん　滝沢秀一さん　田中健一さん　土屋陽一さん　林秀樹さん　増澤延男さん　増田幸一さん　丸山正一さん　柳澤日出男さん　柳澤雄次郎さん　米津仁志さん　櫻井雅文さん　中村邦彦さん　滋野眞さん
宮下貞夫 様(ゲスト)

本日喜投額　29名　¥ 32,000
累　計　¥600,000

[例会の記録]

司　会：南部広樹　委員
斉　唱：ロータリーソング「それでこそロータリー」
●ゲストのご紹介
●会長挨拶
●幹事報告
●メインプログラム　賛助金贈呈
●委員会報告
●「ロータリーの友」紹介

[ラッキー賞]

河田　純さん(酒井喜雄さんより、日本酒)
飯島幸宏さん(織英子さんより、日本酒)

[出席報告]

南部広樹　委員

	本日	前々回 (10/11)
会　員　数	58	58
出席ベース	53	51
出席者数	47	47
出席免除(b) ( )内は出席者数	11(6)	11(4)
出席免除(a)	0	0
メークアップ ( )内はMake up後		3(50)
出　席　率	88.68	98.04

[次回例会予定]

11月８日(月)　上田ＲＣ創立記念日夜間例会
東近江ＲＣをお迎えして

(11月１日発行)

【会報担当】　石田眞人　委員

「ロータリーの友」手引書より

●『ロータリーの友』は　日本におけるロータリーの機関誌

『ロータリーの友』(以下『友』)は、国際ロータリー(RI)の認可を受け、RotaryWorldMagazinePress(『TheRotarian』とロータリー地域雑誌の総称)の一員として発行されているロータリーの地域雑誌です(P2～3に掲載)。地域雑誌としての『友』は、ロータリアンがロータリーライフを深めるためにも、またクラブがRIと直結していると実感するためにも必要な媒体です。

2013年規定審議会で、ロータリー地域雑誌について、会員は印刷媒体か電子媒体のいずれかを選択して購読することができるようになりました。それを受けて、ロータリーの友委員会ならびに一般社団法人ロータリーの友事務所では、電子版の『友』を2014年1月号から発行しています(www.rotary-no-tomo.jp)。

●『ロータリーの友』はロータリーについての情報誌

世界や日本におけるロータリーの状況や活動について、日本全国のロータリアンが情報や思いを共有できるような編集、より身近でより親しまれる編集を心がけています。ロータリアン以外の方にお読みいただいてもロータリーのことをお分かりいただけるように編集していますが、基本的にはロータリアンのための機関・情報誌です。

●『ロータリーの友』はロータリアンの公開討論の場

『友』の縦組みのページにはロータリアンとしての意見や経験談、職業上の知識などを掲載して、ロータリアン同士が議論し、交流を図る「広場という空間」を提供します。この広場にはたくさんのロータリアンがやってきて話し合い、旧交を温め、新しい出会いを喜ぶ……

そんなロータリアンたちが行き交うことのできる『友』をイメージしています。